

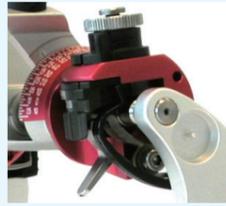
KaVo プロターevo — 咬合システム
プロターevo3、5、7の機能比較



プロターevo 3
(届出番号：27B1X00149000054)



プロターevo 5
(届出番号：27B1X00149000014)



プロターevo 7
(届出番号：27B1X00149000013)

エントリーモデルのプロターevo 3からハイエンドモデルのプロターevo 7まで。そのクオリティーは目で見て、そして感じる事ができます。シルバーの咬合器はクリニックでもラボラトリーでも、衛生的であることを物語ります。精度の高いスプリットキャストは、もちろん以前のタイプから受け継いでいます。フェイスボウは数分で上顎模型を正しく咬合器にマウントするためのデータを取得可能です。



	Basic	Advanced	Premium
	 プロターevo 3	 プロターevo 5	 プロターevo 7
矢状顎路	固定 CE = 30° FH = 45°	調節 -10°~90° (FH) -25°~75° (CE)	調節 -10°~90° (FH) -25°~75° (CE)
側方顎路(ベネット角)	固定 15°	固定 15°	調節 0°~30°
イミディエート サイドシフト(ISS)	0mm	0mm	0~1.5mm
作業側調整 シフトアングル	0°	0°	オプション -20°~+20°
前方移動 後方移動 ディストラクション			調節 0~1.5mm 0~1mm 0~1.5mm

プロターevo咬合器とアルクスディグマII アクセサリー



トランスファースタンド
0.622.1141



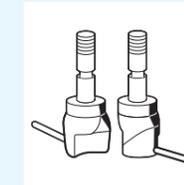
バイトフォークジョイントピース
0.622.0901



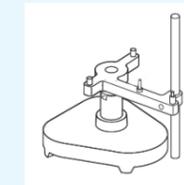
バイトフォーク(有歯痕用)
0.622.0911



バイトフォークサポート
0.622.1391



シフトアングル
0.622.1111



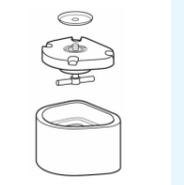
アルクスディグマ
バイトフォークサポート
1.001.5111



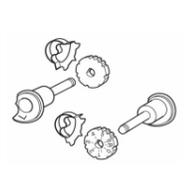
マウンティングプレート
0.622.0791



リシェニングアダプター
1.001.0887



マウンティングセット
0.622.1121



PDRインサート
0.622.1001



アジャスタブルインサールテーブル
1.003.7600



EMGアナリシス
(販売名:アルクスディグマII 認証
番号:222AIBZX00026000)
1.005.4123

KaVo アルクスディグマII
— 超音波デジタル顎運動測定装置

KaVo プロターevo
— 咬合器



歯科用下顎運動測定器
ミクロン単位の精度を
可能にする技術



KAVO
Dental Excellence

カボ デンタル システムズ株式会社

〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481
東京支店: Tel.03-6866-7480 Fax.03-6866-7481 大阪支店: Tel.06-7711-0450 Fax.06-7711-0451
札幌支店: Tel.011-716-4694 Fax.011-716-4692 仙台支店: Tel.022-772-7375 Fax.022-772-7376
名古屋支店: Tel.052-238-1146 Fax.052-238-1567 福岡支店: Tel.092-441-4516 Fax.092-472-1844

http://www.kavo.jp
VHYUM1906V6 HT-56

KAVO
Dental Excellence

KaVo アルクスディグマIIは、 下顎の動きを可視化します。

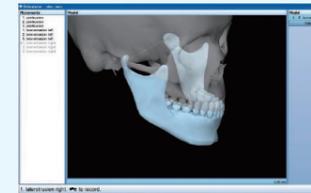
KaVo アルクスディグマIIは、
診療のさまざまなニーズに応え、
USBやデータをメモリーカードに保存するだけで、
PCに取り入れて管理することができます。



歯科診療において的確かつ素早い診断は非常に重要です。
そのためには、迅速な所見と精密、確実な記録が必要となります。

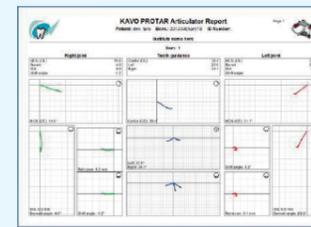
KaVo アルクスディグマIIは、機能計測システムと
専用ソフトウェアによって構成されています。

補綴治療のためのデータ採得—— 院内の咬合器が患者様の役目を担います。



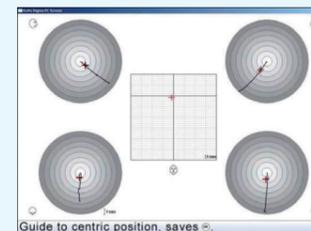
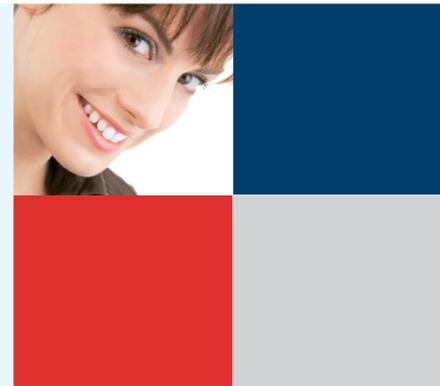
短時間で、咬合器の調節に必要な
矢状顎路、側方顎路、イミディエートサイドシフト(ISS)などの
重要な調節値を確認でき、データとして記録できます。

他メーカーの咬合器の調節値も、
プログラミングすることができます。



咬合器調節値データが自動的に作成されます。
レポートは、保存・出力はもちろん、ラボに
送ることもできます。

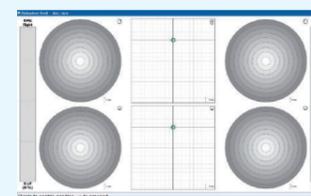
データの曲線は、顎関節(TMJ)および切歯点における、
全ての関連情報を表しています。



下顎位の決定を簡単に。

ガイドドセントリック

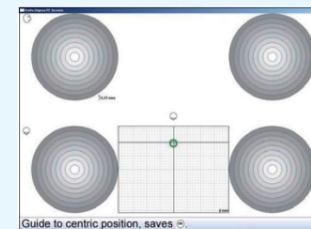
術者の誘導による顎位(黒の十印)は、前方への動きとの相関関係にて表示されます。
その位置は必要に応じて動かすことも可能です。
あとに続く計測(緑の十印)では、コンピュータにより、登録位置にトランスファーできます。



アクションフィールド

最大20回の開閉口運動のあと、インサイザルエッジの後方20mmに水平面に位置する点が表示されます。
分析精度は、開閉口運動が増すほど向上します。

座標点の評価における境界は、自由に選択できます。
複数回の最大開閉口運動又はタッピング運動から咬合採得する顎位が算出されます。
連続計測により、下顎の最新位置(黄の十印)が表示されます。
咬合採得材料を上下歯列間にのせ、緑色の中心に黒十印が位置するように動かします。



ゴシック・アーチ

これは機能障害の症例のために考案された手法ですが、無歯顎の症例にも適しています。
無歯顎の場合、患者様の口腔に口内レジストレーション・サポートピンを設置します。

矢印は、前方運動と側方運動の交点が求められる中心位を描いています。
連続計測(黄の十印)で、下顎を中心位、または任意の位置に合わせ、
咬合採得材料を上下歯列間にのせます。



EMG — 筋繊維の活動電位を測定。



診断と治療の前に、筋電図検査により、筋繊維の活動電位の測定が可能です。

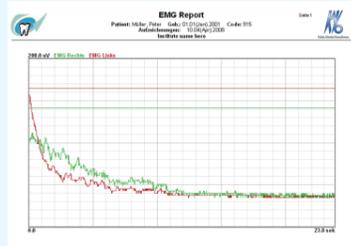
色別の表示に従えば、2チャンネルEMGアナリシスのKaVo アルクスディグマIIへの取り付けは簡単に行えます。
シングル記録、オーバーラップ記録、両方ご利用いただけます。

EMGデュアル電極パッド

EMGアナリシスに使用する電極パッド(25個入)



EMGアナリシス
(認証番号：222AIBZX00026000)



オーバーラップ機能付きの2チャンネルEMG記録

先進医療技術の保険導入

アルクスディグマ及びアルクスディグマIIは平成28年4月1日から診療報酬改定により保険収載となった有床義歯咀嚼機能検査のうち、下顎運動測定に使用できる装置です。

一般名称	歯科用下顎運動測定器
販売名	アルクスディグマII
認証番号	222AIBZX00026000

口腔機能の総合的な評価

有床義歯咀嚼機能検査とは有床義歯装着時の下顎運動及び咀嚼能力を測定することにより、有床義歯装着による咀嚼機能回復の程度等を客観的かつ総合的に評価し、有床義歯の調整、指導、及び管理を効果的に行うことを目的として行うものであり、有床義歯を新製する場合において、新製有床義歯の装着前及び装着後のそれぞれについて実施する。

【有床義歯咀嚼機能検査】平成30年4月1日改定			
(改) 1 有床義歯咀嚼機能検査1 (1回につき)			
イ 下顎運動測定と咀嚼能力測定を併せて行う場合(1回につき) 560点	ロ 咀嚼能力測定のみ行う場合(1回につき) 140点		
(新) 2 有床義歯咀嚼機能検査2 (1回につき)			
イ 下顎運動測定と咬合圧測定を併せて行う場合(1回につき) 550点	ロ 咬合圧測定のみを行う場合(1回につき) 130点		

*下顎運動測定とは、三次元的に下顎の運動路を描記可能な歯科用下顎運動測定器(非接触型)を用いて咀嚼運動経路を測定する検査をいう。

【算定要件】(変更点を抜粋)

・有床義歯咀嚼機能検査1と2の同月の算定不可

【対象患者】次のいずれかに該当する場合に限り算定する。

・新製有床義歯管理料の「2 困難な場合」に準じる場合 ・左右第二大臼歯を含む臼歯が4歯以上欠損している場合(第三大臼歯は歯数には含まない。)
・舌接触補助床又は顎補綴・口蓋補綴装置を装着する場合 ・広範囲顎骨支持型装置埋入手術の(5)に準じる場合

【施設基準】

・当該検査を行うにつき十分な体制が整備されていること。
・当該検査を行うにつき十分な機器を有していること。
* 当該検査体制：歯科補綴治療に係る専門の知識及び3年以上の経験を有する歯科医師が1名以上配置されていること。
* 当該検査機器：保険医療機関内に三次元的に下顎の運動路を描記可能な歯科用下顎運動測定器(非接触型)、咀嚼能率測定用のグルコース分析装置及び歯科用咬合力計を備えていること。

歯科矯正料・顎口腔機能診断料 2,300点

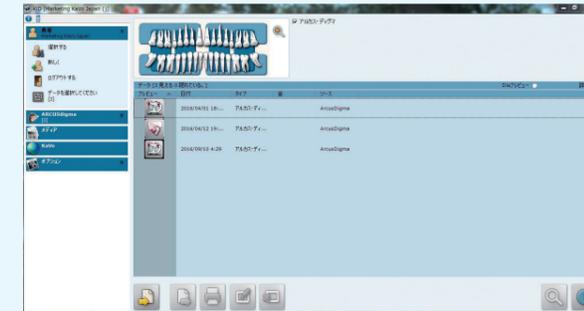
注1 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして地方厚生局長等に届け出た保険医療機関において、顎変形症に係る顎口腔機能診断を行い、治療計画書を顎離断等の手術を担当する保険医療機関と連携して作成し、患者に対し文書により提供した場合に算定する。

2 顎口腔機能診断料は、歯科矯正を開始するとき、動的処置を開始するとき、マルチブラケット法を開始するとき、顎離断等の手術を開始するとき及び保定を開始するとき、それぞれ1回を限度として算定する。

顎運動関連検査(一装置につき一回) 380点

顎運動関連検査は、下顎運動路描記法(MMG)、ゴシックアーチ描記法若しくはパントグラフ描記法により検査を行った場合又はチェックバイト検査を実施した場合に算定する。

インポート、エクスポート — 院内PCで全ての計測値を保存・共有。



患者様から採取・記録・分析した全データは、読みやすい方式でアルクスディグマII/KiDソフトウェアに保存されます。

患者様のデータは、院内のソフトウェアからもトランスファーできます。

リブレーモードでは、全ての計測値を読み込み、表示することができます。

これによりドクターは、的確なアドバイスをスタッフに与えられるのはもちろん、ラボにも記録メディア等のデータを正しく渡す事ができます。受けた側もアルクスディグマII/KiDソフトウェアを使えば、同じように分析ステップが実行できます。分析評価の共有、ラボへの指示等が、大幅に簡素化されます。

使用PC動作環境

ご使用に関しては以下の環境を満たしていることを、ご確認ください。

OS : Windows 7 / Windows 8 / 8.1 32bit / 64bit
CPU : 1GHz以上のx86プロセッサ又は2GHz以上のx64プロセッサ
メモリ : 3GB以上のRAM
HDD : 30GB以上の空き容量のあるディスク領域
画面解像度 : 1280×1024(SXGA)以上
Windows Display Driver Mode (WDDM) 1.0以上のドライバを搭載したDirectX 9 グラフィックプロセッサ

*上記のPC動作環境は2017年2月現在のものです。

*ソフトウェアのアップデートにより動作環境は変更される可能性があります。アルクスディグマIIの導入に合わせてPCの購入を検討される場合は、弊社へ最新の動作環境をお問い合わせ下さい。



高品質

患者様に高い精度と同様に優れた補綴物を提供することは、益々重要になっていきます。KaVoは、こうしたことを新製品開発の際に徹底して求めています。

落ちつきある銀色の表面は、チェアサイド/ラボサイド双方での使用において、高い衛生水準を示しています。このことは、高品質素材の採用と卓越した操作性を可能にするフォルムによりかたち作られています。

KaVo プロターevo：それは、自信を持って使用できる咬合器です。

高精度

より正確なデータを咬合器上にトランスファーできることは、患者様の口腔内でより正確な咬合適合が得られることとなります。咬合調整は通常難しく時間を費やすものといわれております。KaVo プロターevolは、精巧な調節目盛りにより良好な調節機構を持っているので、精度が向上し、コストの削減を実現します。



細かな調節目盛りにより患者様のデータを高精度で設定。



KaVo アルクスディグマIIデジタル計測システムとの併用で、KaVo プロターevolは卓越した効果と精度のもとで作業ができる。



細部に至るまで精密で、正確でしっかりとした咬合を得るためのセントリックロックが可能。



咬合器KaVo プロターevoを日常の技工作業に使用することで、歯科技工士に、その優れた操作性を提供します。世界中の技工士と歯科医との徹底的な意見交換の末、精密で使いやすい咬合器が誕生しました。軽量でなめらかな表面仕上げ、そして、工具を必要としない調節機構などの特徴があります。



KaVo プロターevo：チェアサイドやラボサイドの使用でもその軽さを実感できます。

容易なメンテナンス

鋭角面や角を極端に少なくしたなめらかな表面構造は、例えば、付着した石膏の除去を容易にし、メンテナンスの問題を大幅に解決しました。

デザイン

様々な作業ポジションが可能なKaVo プロターevoのデザインは、総義歯のワックスアップにも適しています。



精度の高いスプリットキャストシステム

スプリットキャストシステムの採用により、咬合器からはずした模型のみを送ることができます。



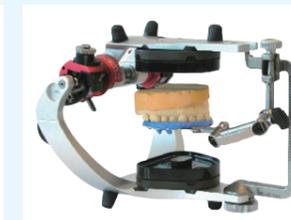
KaVo プロターevo 咬合器へのトランスファー各種設置方法



KaVo アルクス フェイスボウ



KaVo アルクスevo フェイスボウ



トランスファースタンド



ディグマバイトフォークサポート

選べる2タイプのフェイスボウ

フェイスボウは患者様への固定方法の違いにより2種類からお選び頂けます。

KaVo アルクス フェイスボウ



アルクス フェイスボウ (届出番号：27B1X00149000044)

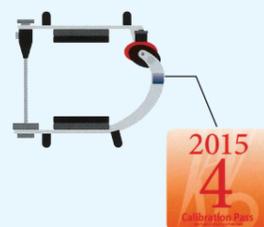
KaVo アルクスevo フェイスボウ



アルクスevo フェイスボウ (届出番号：27B1X00149000052)

KaVo PROTAR® Calibration Pass

プロター キャリブレーションとは



プロター咬合器は、高品質・高精度の部品から構成され、世界中の多くのドクターから高い評価を頂いております。しかし、長期使用してくると部品の消耗やズレ等によって、本来プロター咬合器が持っている能力を最大限に発揮する事が難しくなる場合もあります。そこで、カボ デンタルシステムズ ジャパン株式会社では、現在ご使用されているプロター咬合器をいつでも最高な状態でご使用頂けるよう定期的な点検・調整のキャリブレーションサービスをお勧めいたします。当社の優秀なエンジニアが、お客様のプロター咬合器を調整、確認させて頂き点検終了後に「プロター キャリブレーション パス」認定ステッカーを貼り返送。次回の点検の目安となります。

お申込みの際はお取引ディーラーへプロター咬合器をお渡しいただき「キャリブレーション希望」とお伝えください。(調整期間:10営業日 修理代金ご希望の方 貸出機 3,000円)